



Illustration : Toshiyuki Ido

Visual Basic .NET 奮戦記

第3回

「メニュー」フォームを作る

level

1 2 3 4 5

Technology Tools

- Visual Basic
 Visual C#
 Visual C++
 SQL Server
 Oracle
 Access
 ASP.NET
 Other:

Visual Studio 6.0 (Visual Basic 6.0)
 Visual Studio 2003

Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoetisha.com/mag/windev/>からダウンロード可能です。

我輩の名前は「頑固一徹」。Visual Basic一筋のプログラマだが、上司の命令で嫌々ながらVB.NETを使うハメに。どうせ、VB.NETを使うならと考へ、顧客管理システムを作成することにした。

前は、VB6.0で作成した既存のフォームをVB.NETで使うため、コードのアップグレードに挑戦した。今回は、アップグレードしたフォームを使って、顧客管理システムの「メニュー」フォームの作成を進めることにしよう。

なお、我輩はVB.NETで変わったところと、VB.NETの気に入った機能をメモすることになっている。これらは「Memo」という囲みで紹介するので参考にさせていただきたい。



まずは準備を整えるべし

前はわざわざVB6.0で「StartTest」というプロジェクトを作成し、以前に納めたシステムから、「ログイン(Login.frm)」「処理年度の指定(Nendo.frm)」フォームを取り込み、ひとつのプロジェクトにまとめてからアップグレードを行なった。面倒なことに、VB.NETプログラムへのアップグレードは、プロジェクト単位でないといけないのである。

VB6.0の「StartTest」プロジェクトをアップデートすると、「StartTest.NET」というフォルダにVB.NET用の

プロジェクトを作ってくれた。今回は、この内容を、すべて「Kokyaku」というフォルダにコピーして、作業を進めることにする。

注意

本稿では、開発環境にVB6.0（またはVisual Studio 6.0）とVB.NET（またはVisual Studio .NET）の両方がインストールされているという前提で話を進める。この2つがインストールされていないとサンプルプログラムが正常に動作しないので注意していただきたい。



頑固一徹の

天気晴朗なれど波高し



フォームの追加は簡単だ

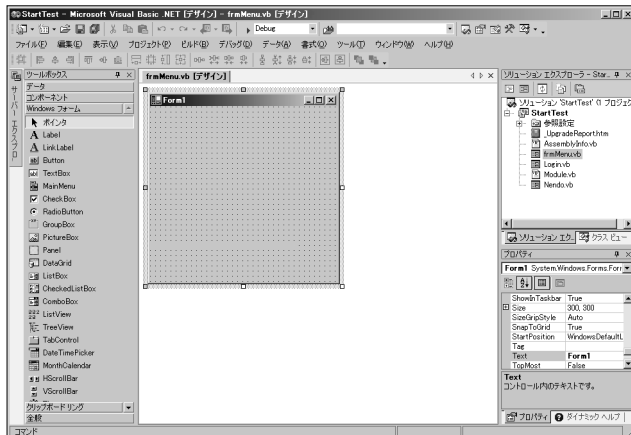
さて、VB.NETプログラムを開くには、どのファイルを選択すればよいのだろうか。VB6.0では「.vbp」ファイルをダブルクリックすればよかった。VB.NETのプログラムでは、ソリューションが一番外側だから、「ソリューションファイル」を呼び出せばよいのだろう。

エクスプローラで「Kokuyaku」フォルダのファイルを見ると、「StartTest.sln」の種類が「Microsoft Visual Studio Solution Object」となっている。これをダブルクリックすると、みごとプログラムが開いた。同じBasicなのに、いろいろと面倒である。

図1:「新しい項目の追加」ダイアログボックス



図2:追加されたフォーム



Memo

プログラムを呼び出す際には、「.sln」ファイルをダブルクリックする。

さっそく顧客管理システムの「メニュー」フォームを作ることにする。VB.NETの「プロジェクト」メニューを開くと、

[Windows フォームの追加]

という項目がある。VB6.0では「フォームモジュールの追加」だったのに。項目名が違うのが不愉快である。

これを選択すると開く「新しい項目の追加」ダイアログボックスの右側のテンプレートで「Windows フォーム」が選択されている(図1)。「Windows フォームの追加」を選択したのに、

フォーム以外を選択できるようにになっているのは、一体どうしたことなのだろう。

ただ、ここで「ファイル名」を指定できるのはうれしい。ファイル名を「frmMenu」と訂正して「開く」ボ

タンをクリックする。

フォームが現われたが、左上にくっ付いていて、フォームデザイナーのウィンドウを動かすことができない(図2)。コードを見ようと、フォームをダブルクリックすると、今度はコードエディタを一杯に表示したので頭にきた(図3)。MSのやることは、いちいち気に障る。西田雅昭というやつは、何かというと「Visual Studio .NETは、とても親切で便利ですよ」などと言っているが、どういう神経をしているのであろうか。



MDI環境を試してみる

ぶつぶつ言っているのが聞こえたのか、東山君がやってきて、

「真ん中の部分は“タブ付きドキュメント”といって、上のタブで切り替えられるので、とても便利なのです」

と教えてくれた。

「タブの切り替えは便利かもしれないが、VB6.0のように2つのウィンドウを同時に見ることができないじゃないか」と反論すると、

図3:中央にコードエディタが表示された

